

福岡城(舞鶴城, 石城) (国史跡, 百名城) (福岡市中央区城内) (舞鶴公園)

福岡城（ふくおかじょう）は、日本の城の一つで、所在地は福岡県福岡市中央区城内。別名、舞鶴城、石城。江戸時代初頭に完成し、外様大名の福岡藩黒田氏の居城であった。国の史跡。

概要

福岡城は福岡市中央区に位置する梯郭式平山城である。普請奉行は野口佐助一成である。城地とされた福崎丘陵（那珂郡警固村福崎）は、博多と那珂川を挟んだ西側にある。主に、本丸を囲むように二の丸、その外に大きく三の丸が配され、47の櫓を配し縄張りの範囲は約25万平方メートルに及ぶ。東側に那珂川を以って堀とし、また西側の干潟「草ヶ江」を大堀として活用した。この大堀は現在大濠公園として整備されている。城下町は城の北側（博多湾側）に開かれた。

築城の際に、福崎を黒田家ゆかりの地である備前国福岡（現在の岡山県瀬戸内市長船町福岡）の地名にちなみ「福岡」と改めている。現在、城跡には門・櫓が現存し、多聞櫓とそれに続く二の丸南隅櫓は国の重要文化財に、潮見櫓・大手門・祈念櫓・母里太兵衛邸長屋門が福岡県指定文化財に、名島門が福岡市文化財にそれぞれ指定されている。また、多聞櫓に続く二の丸北隅櫓が復元されているが、戦後に城内、舞鶴公園外には東西を遮る道路、住宅地、競技場、裁判所、美術館、ありとあらゆる施設が建築され、城郭遺構としては未整備である。

歴史・沿革

安土桃山時代・江戸時代

慶長5年（1600年） - 黒田孝高・長政父子は関ヶ原の戦いの功績により豊前国中津16万石から、一躍筑前一国52万3千石を得て名島城に入城した。便宜上から名島城を廃し、福崎丘陵（現在の舞鶴公園・福岡城跡）を新城候補地に選定した。慶長6年（1601年）には築城が開始され、7年後の慶長12年（1607年）に竣工した。

江戸期に数度の改修が行われたが、特に幕末の嘉永・万延年間に大改修が行われた。

Wikipediaによる



